



令和7年度

東中だより

No. 7

令和7年9月22日

【校訓】 自主 敬愛 創造 錬磨

松山市立東中学校



2年生 職場体験学習

2年生は、9月8日（月）から9月12日（金）を中心に、職場体験学習を行いました。地域のたくさんの事業所の方々にご協力いただき、普段の学校生活では経験できない貴重な体験をすることができました。



<東雲小学校>私は1年生との交流をしました。1番大変だったことは、子どもたちとコミュニケーションを取ることです。小さい子との関わり方が難しかったです。でも、一緒に色々体験していくうちに仲良くなれました。子どもたちに寄り添う先生たちを見て、いつでもどんな時でも子どもたちを想う姿がかっこいいなと思いました。1番嬉しかったのは、サプライズでお別れ会をしてくれたことです。みんなからもらった寄せ書きは最高のプレゼントです。 2年1組 K・C

<大黒屋>立ち仕事が多く、首や足が痛くなることもあり、「働くことは簡単ではない」と実感しました。ホールでは接客や掃除、お冷の準備をし、厨房ではエビの皮むきや仕込み、皿洗いなどを行いました。店員さんはとても優しく、分かりやすく説明してくださったので、すぐに行動に移すことができました。将来、もし自分が後輩を指導する立場になったときには、この経験を生かして、優しく丁寧に伝えることを心がけたいと思います。 2年3組 H・Y

<東雲小学校>数日間でしたが、子どもたちとたくさん関わることができました。最終日には、お別れ会をしてくださり、一緒に折り紙をしているとメッセージを渡してくれたり、カードを作ってくれたり、とても嬉しくて泣きそうになりました。学習を通して、コミュニケーション力を高めることと、挨拶の大切さに気付きました。どんな職業に就いても「挨拶」と「笑顔」を大切にしていきたいです。 2年2組 I・R

<さくら幼稚園>大変だったのは、子どもたちと遊びながら、違う子どもたちのことを見守ることです。危ないことをしていないか、けんかをしていないかを常に見ていることがとても大変でした。でも、「ありがとう」「一緒に遊ぼう」と言われたらとても嬉しく、先生もそれが働きがいだとおっしゃっていました。この職場体験を通して、働くことは楽しいことだけでなく、色々な大変さがあるのだということがわかりました。 2年1組 I・S

<東雲保育園>職場体験学習を終えて、私は人との関わり方の大切さを学ぶことができました。嬉しかったことは、子どもたちが私の名前を呼んでくれたことです。最初、自分に対して人見知りをしていた子も、最終日には名前を呼んでくれるようになり、帰るときに寂しがってくれたのは一生の思い出です。どれだけ調べても感じられない嬉しさや大変さを実際に体験してたくさん学べたので、よい経験になりました。 2年2組 T・K

<八坂小学校>特に難しかったのは、小学生との関わり方です。低学年の子は話しかけてくれるのですが、高学年になると緊張や恥ずかしさがあるのか、コミュニケーションをとることが難しかったです。先生方は授業の間に自分の話などを入れることでコミュニケーションをとっているのだと教えてくれました。私は人と関わることの大切さに気付いたので、これからはたくさんの人と関わりを持ち、コミュニケーションをとることを頑張っていきたいです。 2年3組 Y・M

生徒に学びを委ねる「ヒガシンカタイム」始動!!!!

本校では、この2学期から「生徒自身が主体的に学びを進める」ための新しい挑戦として、「ヒガシンカタイム」をスタートさせました。従来の「先生が教える授業」から一歩踏み出しています。



ヒガシンカタイム 東 進化 学びを進化させる時間



<目的>

- ・人生100年時代 生き方が変わってきている今、必要な「**学び続ける力**」
- ・社会や技術の変化に対応する・変化を生み出すための「**自ら学ぶ力**」
- ・「座っていれば先生が教えてくれる」から「**自分で学びを創り出す**」学習の転換

<内容>

- ・1コマ40分間で「何を・誰と・どこで・どうやって学ぶか」を**自分で決定**
- ・図書館・理科室・中庭・教室など**好きな場所**で学習
- ・一人で集中・友達と協力・先輩後輩と教えるなど、**多様な学び**が可能



<やってみて、どうだったか（生徒の声）>

- ・図書室で友達と集中して勉強した。それぞれが持ってきた問題集などを使って同じ机で勉強した。いつもと環境が違い、楽しかった。
- ・友達と教え合いをした。どうすれば相手に分かりやすく教えられるかを考えることで、自分も情報を整理することができた。
- ・後輩に英語を教えたことが、自分の文法の復習につながった。



<先生の気づき>

- ・普段の授業では静かな生徒が、友達に積極的に教えている姿が見られた。
- ・生徒が自ら学びに向かうと、学習意欲や表情が大きく変わることを実感した。
- ・「生徒に教える」ではなく、「伴走する」という役割も大事だということを感じた。

ヒガシンカタイムは、生徒も教師も共に成長する新しい学びの場です。挑戦を重ねながら、さらにより形へと進化させていきます。これからも東中学校の新たな挑戦にご期待ください。